

京で輝く！女性活躍推進プロジェクト【京都市】

地域の実情と課題

- 民間企業における女性の管理職比率は、全国と同様に依然として低い状況
- 週間就業時間60時間以上の雇用者の割合が10.0%と全国7番目の高さ。企業における長時間労働の是正や働き方の見直しが課題
- 市内企業の99%以上を中小企業が占める中、中小企業における働き方改革の取組が広がることが必要

事業の特徴

- シンポジウム及びセミナー
企業の経営層・管理者・人事担当者、一般社員、女子学生と、それぞれの対象に応じたシンポジウムやセミナーを開催。
- 京都企業における女性活躍実態調査
今後の女性活躍に関する施策の在り方を検討する基礎資料として活用するため、京都府内の企業1,000社を対象とし、女性管理職の登用状況、育児休業制度利用状況等についての調査を実施

事業の効果

- シンポジウム
事業後のアンケートにおいて、「とても良かった」、「良かった」と回答した参加者の割合が9割以上と満足度が高く、アンケートの感想からも企業の取組実例が参加者の参考になったことがうかがえた。
- セミナー
いずれのセミナーも参加者の満足度は高く、一般社員向けセミナーでは企業等を越えたネットワークづくりにつなげることができ、女子学生向けセミナーでは、参加者にキャリア形成について考え、今後の行動を促すきっかけとすることができた。

目的・目標

【目的】

長時間労働を前提とした働き方の見直しや男女が共に多様で柔軟な働き方を実現していくために、企業の取組や女性の就業継続を促進する啓発に取り組む。

【目標値及び達成度】

シンポジウム参加者数: 240名 → 157名(達成度65.4%)

セミナー参加者数合計: 130名 → 156名(達成度120%)

「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス推進企業認証制度の宣言企業数
3,200社 → 1,853社(H31.2月末時点)(達成度57.9%)

連携団体

＜「輝く女性応援京都会議」構成団体＞

京都府、京都労働局、京都府商工会議所連合会、京都府商工会連合会、
京都府中小企業団体中央会、京都商工会議所、京都経営者協会、
一般社団法人京都経済同友会、公益社団法人京都工業会、
京都府商工会議所女性会連合会、京都府商工会女性部連合会、
京都商工会議所女性会、日本労働組合総連合会京都府連合会、
国際ソロプチミスト京都、国際ゾント京都クラブ、
公益財団法人大学コンソーシアム京都、日本政策金融公庫、
公益財団法人21世紀職業財団関西事務所、
京都府・市男女共同参画センター

今後の課題

女性の活躍を推進し、男女が共に多様で柔軟な働き方を実現していくために、更なる意識啓発や人材育成が必要であり、今後も事業結果を踏まえ、引き続き企画や広報における「輝く女性応援京都会議」との連携の下、より効果の高いシンポジウムやセミナー等の実施に取り組む。また、女性活躍実態調査の結果を同会議において共有し、各団体における取組の効果検証につなげていくことが必要。